

祝 辞

このたびは日本李登輝友の会秋田県支部の設立、誠におめでとうございます。秋田県支部は本会二十八番目の支部となり、設立に尽力された本会理事で発起人代表の佐藤典子様をはじめ、発起人並びに関係者の皆様に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

本来なら会長である私自身も出席して発足をお祝いしたかったのですが、生憎所要のため叶わず書面をもってご挨拶申し上げます。今年六月は、李登輝元総統が総統を退任されてから九度目のご来日として沖繩を訪問されたことは未だ記憶に新しいところです。

振り返ってみますと、李登輝先生が二〇〇一年に総統退任後初めて来日され、二回目は二〇〇四年でしたが、まだまだ中国の圧力が強く、政府はビザ発給の条件として、記者会見しない、講演しない、政治家と会わない、東京を訪問しないという四つの条件を付けていました。

しかし、尊敬申し上げていた国際教養大学学長の中嶋嶺雄先生が招聘された二〇〇七年は、折しも第一次安倍政権で、この条件が全て取り払われました。東京でも秋田でも講演され、靖國神社にも参拝し、日本外国特派員協会でも記者会見を行われ、すべてが初めて尽くしでした。

また、当時、私が学長を務めていた拓殖大学を訪問されるといふことも光栄な機会を与えていただき、今もその感慨を昨日のように思い出します。

李登輝先生は本会支部が増えることを大変喜ばれているとお聞きしています。特に中嶋先生とご縁の深い秋田の地に本会秋田県支部が設立されるのですから、殊のほかお慶びになつているものと拝察します。

秋田県より日台交流・日台共栄を推進されることをご期待申し上げますとともに、秋田県支部のますますのご発展とご列席の皆様のご健勝をお祈りします。

平成三十年十一月十日

日本李登輝友の会

会長 渡辺

利夫

